

平成28年度  
福井県教育委員会の事務の管理および執行の状況の  
点検・評価報告書

平成29年9月

福井県教育委員会

# — 目 次 —

I	はじめに	1
II	点検・評価について	2
III	組織および決算	3
1	組織	3
2	課別決算額調	4
IV	平成28年度福井県教育委員会の活動状況	5
1	教育委員会の会議開催等の状況	5
2	教育委員の活動状況	9
3	審議会等審議状況	11
4	教育委員会関係の許認可の状況	11
5	県立学校入学者選抜学力検査結果の状況	13
6	平成28年度実施 平成29年度公立学校教員採用選考試験の実施状況	15
V	平成28年度の教育関係施策の取組実績	18
1	平成28年度の主な取組みについて	18
2	主要施策成果報告	19
VI	有識者からの意見	39

## I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下、「地教行法」という。）に基づき、平成20年度から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理および執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しています。

### [ 参 考 ]

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（抜粋）（平成27年4月1日改正法施行）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

本報告書「平成28年度 福井県教育委員会の事務の管理および執行の状況の点検・評価報告書」（以下、「点検・評価報告書」という。）は、地教行法の規定に基づき、より効果的な教育行政の推進と県民の皆様に対する説明責任を果たすため、福井県教育振興基本計画に掲げた施策の実施結果を示すとともに、教育委員会の各種活動状況について点検・評価した結果を取りまとめたものです。

有識者の方に内容のご確認をいただき、その意見を併せて掲載しています。

本報告書により県民の皆様から、県の教育行政についてのご意見やご要望をいただき、今後の新たな教育関連施策に活かしていきたいと考えています。

## Ⅱ 点検・評価について

### 1 対象期間

平成28年度（平成28年4月～平成29年3月）

### 2 点検・評価方法

#### (1) 点検・評価報告書の作成

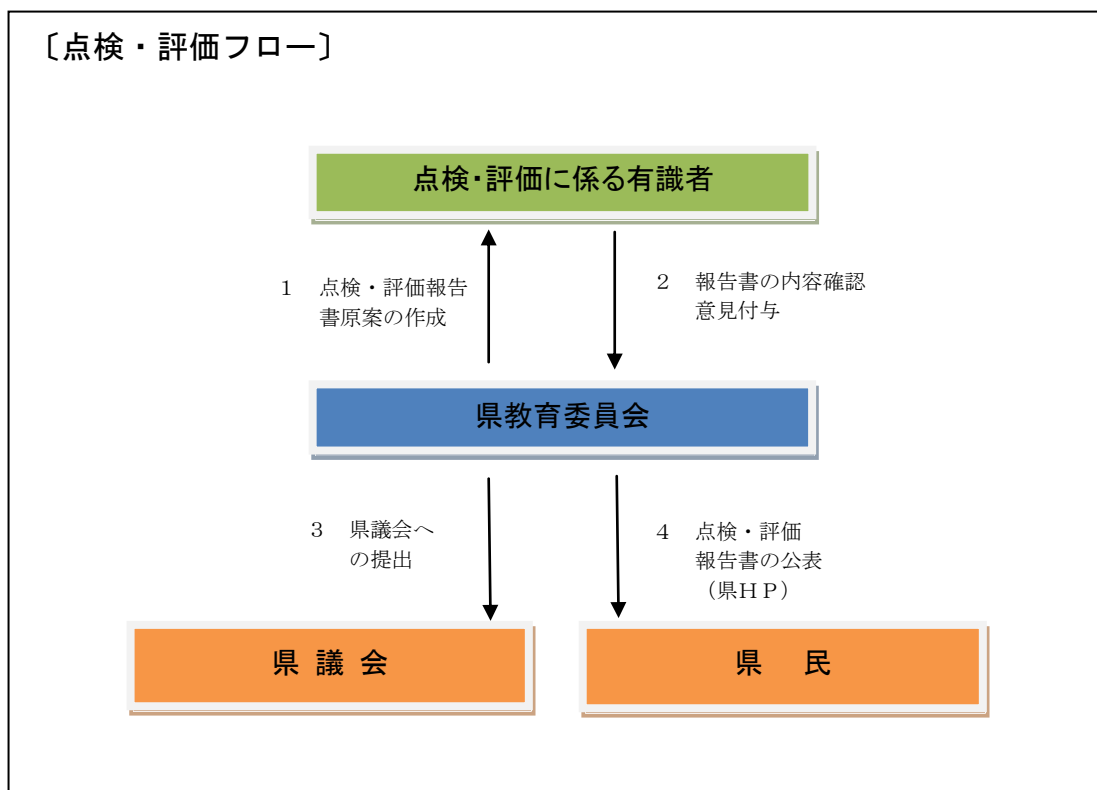
- ・ 教育委員会において点検・評価報告書案を作成

#### (2) 点検・評価報告書の確認、審査

- ・ 有識者による点検・評価報告書案の内容の確認および審査

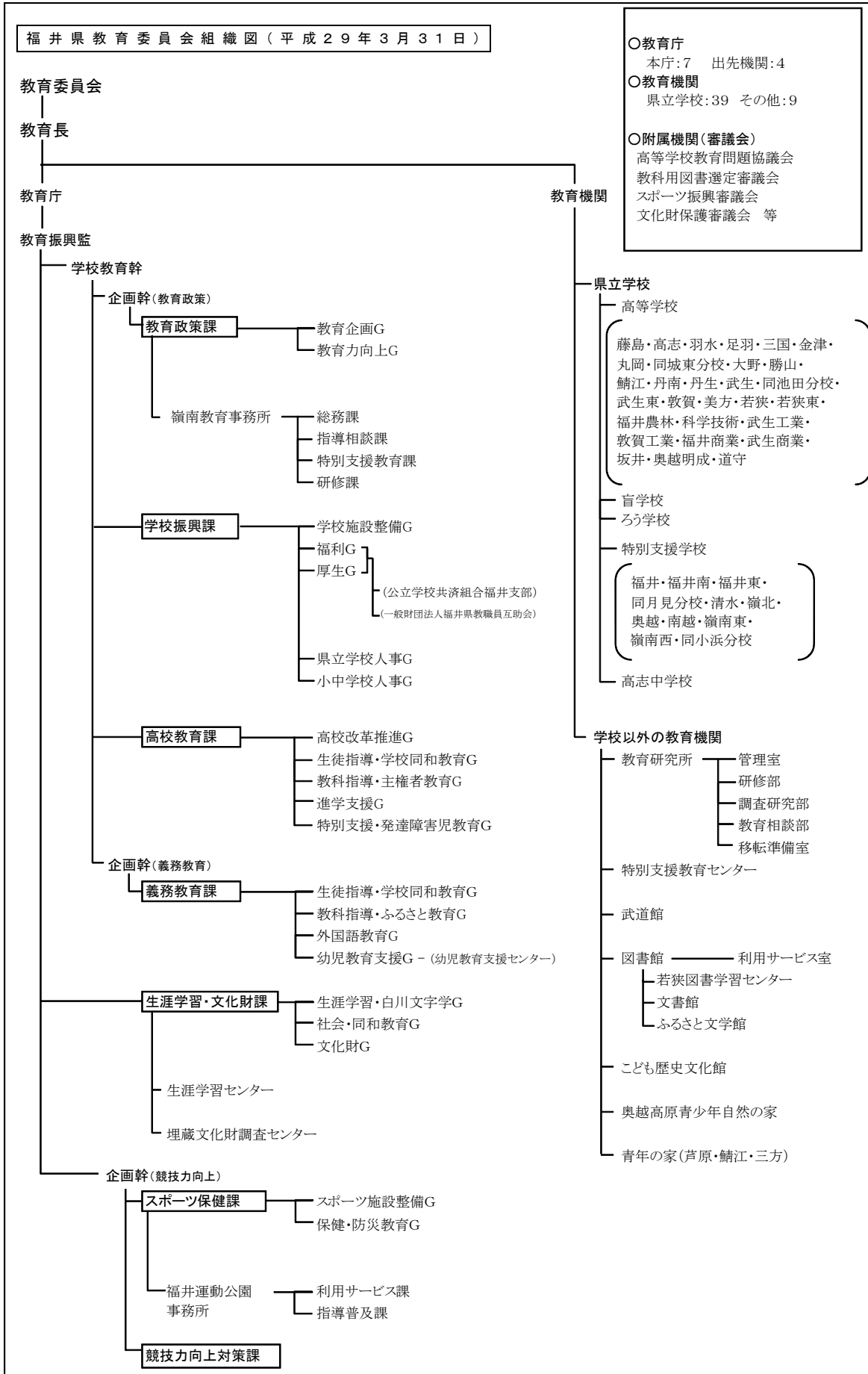
#### (3) 点検・評価結果の公表

- ・ 点検・評価報告書を県議会に提出するとともに、県のホームページにおいて公表



### Ⅲ 組織および決算

#### 1 組織



## 2 課別決算額調

(一般会計)

(1) 歳入

(単位：千円、%)

課名等	予算現額A	調定額B	収入済額C	(不納欠損額) 収入未済額	C/A	C/B
教育政策課	63,920	60,957	60,957	0	95.4	100.0
学校振興課	16,316,365	16,188,627	16,186,376	2,251	99.2	100.0
高校教育課	353,899	361,689	339,832	21,857	96.0	94.0
義務教育課	178,411	172,129	172,129	0	96.5	100.0
生涯学習・文化財課	2,740,694	1,301,195	1,301,173	22	47.5	100.0
スポーツ保健課	2,506,581	2,436,305	2,436,305	0	97.2	100.0
競技力向上対策課	423,156	410,007	410,007	0	96.9	100.0
計	22,583,026	20,930,909	20,906,779	24,130	92.6	99.9

(2) 歳出

(単位：千円、%)

課名等	予算現額A	支出済額B	翌年度繰越額C	不用額	B/A
教育政策課	3,150,707	3,138,310	0	12,397	99.6
学校振興課	74,707,166	73,754,913	674,646	277,607	98.7
高校教育課	1,069,021	951,553	80,512	36,956	89.0
義務教育課	1,198,780	1,166,037	0	32,743	97.3
生涯学習・文化財課	3,915,016	2,417,189	1,465,372	32,455	61.7
スポーツ保健課	7,263,739	6,268,539	974,185	21,015	86.3
競技力向上対策課	870,608	846,800	0	23,808	97.3
計	92,175,037	88,543,341	3,194,715	436,981	96.1

※ 計で四捨五入になるよう端数調整

#### IV 平成28年度福井県教育委員会の活動状況

##### 1 教育委員会の会議開催等の状況

###### (1) 福井県教育委員会委員

(平成28年4月1日～平成29年1月9日)

	氏名	職業
教育長	森 近 悦 治	
委員 (教育長職務代理者)	吉 井 正 雄	医師
委員	清 川 肇	会社役員
委員	小 泉 信太郎	会社役員
委員	西 野 里 佳	元PTA役員
委員	八 田 嘉一郎	会社役員

(平成29年1月10日～平成29年3月31日)

	氏名	職業
教育長	森 近 悦 治	
委員 (教育長職務代理者)	吉 井 正 雄	医師
委員	清 川 肇	会社役員
委員	西 野 里 佳	元PTA役員
委員	八 田 嘉一郎	会社役員
委員	南 部 隆 保	会社役員

## (2) 教育委員会会議の開催状況

- ・ 開催回数 17回
- ・ 附議事項 60件

### ○第1042回（平成28年4月15日（金））

- ・ 福井県教科用図書選定審議会委員の任命について
- ・ いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
- ・ いじめ調査専門委員会委員の委嘱について

### ○第1043回（平成28年5月9日（月））

- ・ 平成28年5月16日付け人事異動について
- ・ 福井県教育委員会行政組織規則の一部改正について

### ○第1044回（平成28年5月13日（金））

- ・ 平成29年度福井県公立学校教員採用選考試験について
- ・ 青少年センター設置および管理に関する条例を廃止する条例の施行に伴う関係規則の整理に関する規則の制定について
- ・ 福井県社会教育委員の任命について
- ・ 福井県スポーツ推進審議会委員の任命について
- ・ 福井県立歴史博物館運営協議会委員の任命について

### ○第1045回（平成28年6月29日（水））

- ・ 平成28年度福井県立高等学校後期編入者選抜実施要項（定時制の課程および通信制の課程）の制定について
- ・ 福井県心身障害児就学指導委員会委員の選任について
- ・ 平成29年度使用義務教育諸学校教科用図書採択についての基準、選定資料および採択目録の決定について
- ・ 福井県立恐竜博物館運営協議会委員の任命について

### ○第1046回（平成28年7月29日（金））

- ・ 平成29年度福井県公立学校教員採用選考試験第1次選考合否の決定について

### ○第1047回（平成28年8月23日（火））

- ・ 平成29年度福井県立高等学校入学者選抜における福井国体に係る体育推薦の実施校および実施種目の決定について
- ・ 平成29年度福井県立高志中学校入学者募集要項の制定について
- ・ 平成29年度使用県立高等学校、県立特別支援学校高等部および県立中学校の教科用図書の採択について
- ・ 審査請求に対する裁決について



- 第1048回（平成28年9月7日（水））
  - ・平成27年度教育委員会の事務の管理および執行の状況の点検・評価報告書について
  - ・福井県立体育施設の設置および管理に関する条例等の一部改正について
  - ・福井県立艇庫の管理運営に関する規則の制定について
  
- 第1049回（平成28年9月28日（水））
  - ・平成28年度教育功労者表彰の被表彰者の決定について
  - ・平成28年10月1日付け人事異動について
  - ・平成29年度福井県公立学校教員採用選考試験の採用内定者の決定について
  
- 第1050回（平成28年10月25日（火））
  - ・福井県奨学育英基金管理規則の一部改正について
  - ・平成29年度福井県立学校入学者募集定員について
  - ・平成29年度福井県立高等学校入学者選抜実施要項等の制定について
  - ・平成29年度福井県立特別支援学校の幼稚部および高等部の入学者選考実施要項の制定について
  - ・平成30年度福井県立学校入学者募集における高志高等学校理数科の募集停止の決定について
  - ・審査請求に対する裁決について
  
- 第1051回（平成28年11月22日（火））
  - ・福井県教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について
  - ・福井県立若狭歴史博物館運営協議会委員の任命について
  - ・福井県立体育施設の指定管理者の指定について
  - ・平成29年度福井県公立小・中学校事務職員採用試験の採用内定者の決定について
  - ・平成29年度福井県公立学校教員採用選考試験追加合格者の決定について
  - ・平成29年度福井県公立学校校長・教頭任用選考試験の合格者の決定について
  
- 第1052回（平成28年12月15日（木））
  - ・平成29年度教職員人事異動方針について
  
- 第1053回（平成28年12月27日（火））
  - ・福井県教育庁および教育機関に勤務する職員の服務に関する規程の一部改正について
  
- 第1054回（平成29年1月30日（月））
  - ・南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞受賞者の決定について
  - ・平成28年度ふくい優秀教職員表彰被表彰者の決定について
  - ・平成28年度福井県学校保健・学校安全・学校給食表彰被表彰者の決定について

○第1055回（平成29年2月14日（火））

- ・福井県教育研究所設置条例の一部改正について
- ・福井県立学校職員定数条例の一部改正について
- ・市町立学校県費負担教職員定数条例の一部改正について
- ・福井県立学校設置条例の一部改正について
- ・福井フューチャーマイスタートップ賞受賞者の決定について
- ・平成29年度福井県公立学校再任用教職員採用内定者の決定について
- ・平成29年度福井県寄宿舍指導員採用内定者の決定について

○第1056回（平成29年3月16日（木））

- ・運動公園の管理運営に関する規則の一部改正について
- ・福井県教職員顕彰規程の一部改正について
- ・敦賀市立看護専門学校廃止の認可について
- ・授業名人の任命について
- ・平成28年度漢字指導者の認定について
- ・平成29年4月1日付け教育庁および学校以外の教育機関の管理職（教員出身者）の人事異動について
- ・平成29年度公立小中学校校長・教頭および県立学校校長・教頭の人事異動について

○第1057回（平成29年3月22日（水））

- ・平成29年4月1日付け機構改革（教育委員会関係）および教職員以外の参事級以上の職員の人事異動について
- ・平成29年4月1日付け機構改革に伴う福井県教育委員会規則等の一部改正について

○第1058回（平成29年3月31日（金））

- ・福井県指定文化財の指定について
- ・教職員の懲戒処分の公表基準の改正について

## 2 教育委員の活動状況

時 期	活 動 内 容 (参加行事等)
平成28年	
4月 1日	新採用教職員辞令交付式
4月 1日	県立学校校長・教頭辞令交付式
4月15日	第1042回教育委員会
5月 9日	第1043回教育委員会
5月13日	総合教育会議
5月13日	第1044回教育委員会
5月26日	市町教育委員会連絡協議会
6月 9日	学校視察 (丹南)
6月29日	第1045回教育委員会
6月29日	学校視察 (高志中)
6月30日	学校視察 (奥越特支、勝山市成器西小)
7月11日	嶺南地区教頭会総会・研究協議会
7月11日、12日	全国都道府県教育委員会連合会第1回総会
7月16日	芦原青年の家開所式
7月29日	第1046回教育委員会
7月29日	知事との意見交換会
8月 7日	教員採用試験面接
8月 8日	教員採用試験面接
8月 9日	教員採用試験面接
8月10日	教員採用試験面接
8月23日	第1047回教育委員会
8月27日、28日	北信越国体視察
8月30日	嶺南地区校長会
8月31日	市町女性教育委員の会
9月 7日	第1048回教育委員会
9月28日	第1049回教育委員会
10月 1日、 2日	岩手国体視察
10月 4日、 5日	岩手国体視察
10月 8日、 9日	岩手国体視察
10月21日	平成28年度都道府県・指定都市教育委員研究協議会
10月21日	白川静没後十年記念式典
10月25日	第1050回教育委員会
10月27日	管理職任用選考試験面接

10月29日	創立30周年記念式典（武生東）
10月31日	管理職任用選考試験面接
11月1日	管理職任用選考試験面接
11月2日	学校訪問（福井東特別支援学校）
11月2日	永年勤続教職員表彰
11月3日	創立50周年記念式典（福井特支）
11月4日	学校訪問（美方）
11月7日、8日	東海北陸ブロック教育委員全員協議会
11月9日	学校視察（若狭）
11月10日	学校視察（科学技術）
11月11日	教育功労者表彰式
11月18日、19日	教育フォーラム
11月21日	学校視察（丸岡南中）
11月22日	第1051回教育委員会
12月27日	総合教育会議
12月15日	第1052回教育委員会
12月27日	第1053回教育委員会
平成29年	
1月12日	教育委員会委員感謝状贈呈式
1月16日	教育委員会委員辞令交付式
1月23日	全国都道府県教育委員会連合会第2回総会
1月30日	第1054回教育委員会
2月14日	第1055回教育委員会
2月14日	優秀教職員表彰式、学校保健等表彰式
3月2日	県立学校卒業式（若狭東、奥越明成、科学技術、丸岡、武生、）
3月3日	県立学校卒業式（三方、高志、丸岡（城東）、大野、武生商業）
3月10日	県立学校卒業式（嶺北特支）
3月13日	県立学校卒業式（嶺南東特支）
3月14日	県立学校卒業式（盲）
3月16日	第1056回教育委員会
3月22日	第1057回教育委員会
3月27日	授業名人任命式、漢字指導者認定書授与式
3月31日	永年勤続退職教職員辞令交付式・表彰式
3月31日	第1058回教育委員会

※ 教育長単独での活動の記載は省略してあります。

### 3 審議会等審議状況

名 称	委員数	会議開催数	件 名	種 別	年月日
福井県心身障害児就学指導委員会	20	3	県立特別支援学校の該当児判断について	審議	28. 7. 5 28. 9. 16 28. 12. 14
福井県教科用図書選定審議会	15	2	義務教育諸学校で使用する教科用図書について	審議・答申	28. 5. 12 28. 6. 2
福井県文化財保護審議会	15	3	県指定の現地調査依頼について 指定文化財の諮問について 指定文化財の答申について	審議・諮問・協議・答申	28. 5. 21 29. 1. 5 29. 3. 6
福井県スポーツ推進審議会	15	1	福井県スポーツ推進計画の進捗状況について これからの児童生徒、県民のスポーツ振興について	審議	29. 3. 21

### 4 教育委員会関係の許認可の状況

#### (1) 教育職員免許状の授与等（平成28年度）

区分	専修免許状	1種免許状	2種免許状	特別免許状	臨時免許状	合 計
小学校	45	111	22	0	33	211
中学校	47	109	8	1	5	170
高等学校	56	193	0	1	51	301
特別支援学校	3	33	40	0	19	95
幼稚園	6	76	171	0	5	258
養護教員	0	10	2	0	2	14
栄養教員	0	8	1	0	0	9
自立教科等	0	0	0	0	0	0
合 計	157	540	244	2	115	1058

## (2) 文化財の指定状況

平成28年度においては、有形文化財（建造物・絵図等）9件、無形民俗文化財1件を新たに県文化財に指定しました。

また、3件が新たに、1件が追加で国重要文化財等に指定されました。

### <指定文化財の現状>

平成29年3月31日現在

区分	国			県指定	計
	指定	選定・選択	登録		
国 宝	6				6
重要文化財	104				104
有形文化財			165	239	404
無形文化財	1			5	6
重要有形民俗文化財	1				1
有形民俗文化財			1	9	10
重要無形民俗文化財	5				5
無形民俗文化財		11		63	74
特別史跡	1				1
史 跡	23			29	52
特別名勝	1				1
名 勝	14		2	7	23
特別天然記念物	4				4
天然記念物	17		1	33	51
特別名勝天然記念物					
名勝天然記念物	1				1
計	178	11	169	385	743
重要伝統的建造物群保存地区		2			2
選定保存技術		1			1

## (3) 銃砲刀剣類の登録状況

銃砲刀剣類所持等取締法に基づき、審査会を開催し、登録証の交付等をおり行いました。

登録証交付 37 件

登録証再交付 17 件

所有者変更 183 件

(4) 教育委員会所管の公益法人

25 法人 (平成29年3月31日現在)

新制度移行法人 (公益財団法人11 公益社団法人1 一般財団法人9  
一般社団法人4)

5 平成29年度県立学校入学者選抜学力検査結果の状況

(1) 県立高等学校

推薦入学、連携型中高一貫教育校入学者選抜、第1次学力検査および第2次学力検査の課程別の合格者数は、表1のとおりです。また、全日制の第1次の学力検査合格者4,214人(前年度4,227人)に関する教科別の平均点は、表2のとおりです。

表1 課程別の合格者数

※ ( ) 内は前年度実績

	全 日 制	定 時 制	合 計
推薦入学によるもの	915( 921)		915( 921)
連携型中高一貫教育校入学者選抜によるもの	101( 102)		101( 102)
1次学力検査によるもの	4,214(4,227)	206( 183)	4,420(4,410)
2次学力検査によるもの	21( 12)	27( 28)	48( 40)
計	5,251(5,262)	233( 211)	5,484(5,473)
充足率	98.2%(99.4%)	50.7%(44.0%)	94.5%(94.8%)

<参 考>

募集定員	5,345(5,295)	460(480)	5,805(5,775)
------	--------------	----------	--------------

表2 教科別の平均点

教 科	全 日 制
国 語	66.5 ( 64.9)
英 語	54.3 ( 55.0)
数 学	41.7 ( 58.2)
社 会	49.5 ( 56.3)
理 科	52.1 ( 51.2)
総 点	264.1 (285.6)

## (2) 県立中学校

平成27年度に開学した高志中学校の入学選抜の受験の状況は、表3のとおりです。また、適性検査等の結果は表4のとおりです。

表3 受験の状況

募集定員	出願者数	受験者数	合格者数
90	337	336	90

表4 適性検査等の結果

	配点	平均点
適性検査Ⅰ	100	51.6
適性検査Ⅱ	100	29.4
適性検査Ⅲ	100	30.7
作文	50	32.3
合計	350	144.0



## 6 平成28年度実施 平成29年度公立学校教員採用選考試験の実施状況

### 第1次選考試験

#### 試験期日および場所

期 日 等	場 所
平成28年7月16日(土) 一般教養・教職専門・教科等専門(小学校、 高等学校各教科、養護教諭、栄養教諭)	福井県立藤島高等学校(福井市文京 2-8-30) 【小学校実技(水泳)】 男子：福井市松本小学校 (福井市町屋 3-14-20)
平成28年7月17日(日) 教科等専門(中学校各教科、中高一括で行 う教科、特別支援学校)	女子：福井市春山小学校 (福井市文京 3-13-1)

### 第2次選考試験

#### 試験期日および場所

期 日 等	場 所
平成28年8月6日(土) 適性検査、小論文 平成29年度大学院特別選考 適性検査、個人面接 スポーツ・芸術特別選考 小論文、個人面接 教育エキスパート特別選考 小論文、個人面接	福井県立藤島高等学校(福井市文京 2-8-30)
平成28年8月7日(日)～10日(水) (個人面接、集団討論)	

#### 《 教員採用試験の改善について 》

優秀な人材の確保、選考過程の透明性、公平性を図るため、次のような改善を行いました。

- 優秀な人材の確保
  - < 18年度から実施 >
    - ・受験資格を60歳未満に拡大
    - ・講師経験者の1次選考免除を導入
  - < 19年度から実施 >
    - ・2次選考において、場面指導を導入
    - ・国際貢献活動経験者の1次選考免除を導入
  - < 20年度から実施 >
    - ・大学院修士課程修了時の特別選考を導入

< 21年度から実施 >

- ・面接の重視（配点割合の引き上げ）
- ・「音楽」「美術」を含む全教科での筆記試験の実施

< 23年度から実施 >

- ・スポーツ特別選考の実施

< 25年度から実施 >

- ・従来の一括募集を校種・教科別の募集に変更
- ・2つの校種・教科を併願できるように変更
- ・校種・教科の専門試験を1次選考で実施（全ての受験者が専門試験を受験）
- ・2次選考の「場面指導」を「集団討論」に変更
- ・面接の重視（配点割合の引き上げ）

< 27年度から実施 >

- ・特別選考の導入①スポーツ・芸術特別選考  
②教育エキスパート特別選考  
③グローバル教育特別選考

< 28年度から実施 >

- ・特別選考の導入①スポーツ・芸術特別選考  
②教育エキスパート特別選考  
    専門教育分野  
    英語教育分野

○ 受験者に対する情報の提供

< 20年度から実施 >

- ・2次選考の不合格者に対して、成績をA、B、Cの三段階で通知
- ・試験問題の持ち帰りと、解答例・配点の公表（自己採点可能）
- ・個人情報開示請求に基づき、以下の情報を開示  
    1次選考、2次選考における筆記試験、実技試験、面接、作文の点数
- ・筆記試験、実技試験、面接、作文の配点ならびに評価項目など選考基準をホームページで公開
- ・1次選考合格者、最終合格者について、可否結果通知の発送に併せて、ホームページでも受験番号を公表

< 21年度から実施 >

- ・判定基準をホームページで事前発表
- ・解答例、設問別配点をホームページに掲載（自己採点可能）
- ・不合格者のうち希望者に筆記試験、実技、作文、面接の各点数および合計点数を通知

< 26年度から実施 >

- ・不合格者全員に筆記試験、実技、作文、面接の各点数および合計点数を通知

○ 選考過程等の改善

< 20年度から実施 >

- ・改ざん等の不正防止のため、担当部署以外の行政職員による答案や面接時の個票と選考資料との突き合わせ点検実施
- ・民間有識者による、選考手順や選考内容の点検、抽出データによる答案等の元データと選考資料データの突合

< 21年度から実施 >

- ・実技試験において、受験番号にかわり整理番号の使用

< 24年度から実施 >

- ・電子申請による受付

< 26年度から実施 >

- ・一般教養の試験において、マークシート方式を導入

< 27年度から実施 >

- ・小学校筆記試験に外国語のリスニングテストを導入
- ・一般教養に加え、教職専門の試験において、マークシート方式を導入

## V 平成28年度の教育関係施策の取組実績

### 1 平成28年度的主要な取組について

- ・平成27年12月に策定した「福井県教育振興基本計画」に基づき、ふるさと教育や学力向上などの施策を着実に実行しました。
- ・ふるさと福井の先人100人の生き方を学ぶ副教材や福井ゆかりの古典音読・暗唱教材を作成し、すべての学校で活用を始めました。先人100人については、広く一般の方に知ってもらうため、書籍化して3月に出版しました。
- ・職業系高校において、年間を通した週1回の長期企業実習（デュアルシステム）を導入するとともに、普通科系高校においても、県内企業を訪問し、経営者やUターン就職者と意見交換する機会を設け、福井で働く意識を高めました。
- ・小中学生の学力向上を図るため、小学校5・6年生の理科等に教科担任制、中学校3年生の英語・数学に習熟度別学習を導入しました。  
また、小中学校では、特産品を活かした商品開発や地元の観光地を県外でPRする活動など、地域の人々と連携した体験学習を実施しました。  
(提案型の体験学習を実施する小中学校 目標：28校、達成状況28校)
- ・高校生の学力向上を図るため、新たに県独自テストを実施しました。ベテランと若手教員と一緒に問題と解答・解説を作成し、結果を分析することにより、生徒の弱点の把握と教員の授業改善を行いました。高校を卒業した生徒に対しては「大学進学サポートセンター」を4月に開所し、退職教員による学習指導や進路相談を行うなど、大学進学を支援しました。
- ・教育研究所の移転に伴い教員研修を効率化するとともに、新たな学習指導要領への対応やいじめ・不登校などの重要な課題に対する研修を充実しました。さらに、本県ゆかりの教育者や教育の歴史を紹介する「教育博物館」の開館に向けて、準備を進めました。
- ・平成30年の福井国体に向け、「スポジョブふくい」により70名の有力選手を確保するとともに、ふるさと選手150名から福井国体出場の確約を取りました。さらに、ふるさと選手との合同練習や強豪チームとの対戦を増やすなど、競技力の向上を支援しました。  
(国体総合成績 目標：10位台前半、達成状況：18位)  
(有力選手確保 目標：60名、達成状況：70名)

## 2 主要施策成果報告

### (1) 教育振興基本計画に基づく施策の実施結果

#### 方針1:ふるさと福井に誇りと愛着を持ち将来の福井を考える人を育てる「ふくい創生教育」の推進

##### 〔平成 28 年度の実施結果〕

- ふるさとの先人 100 人の生き方から学ぶ副教材の中学校・高校における活用を開始
  - ・ 6月に全中学生・高校生に配付し、道徳の授業や HR において活用
  - ・ 取り上げる先人を増やした改訂版を作成し、3月に一般向けの書籍を出版
- 福井ゆかりの百人一首等を題材とした古典音読・暗唱教材の授業における活用を開始
  - ・ 全小学校・中学校に配付し、国語等の授業において活用
  - ・ 国語などの教員を対象に漢詩の中国語での学習法等の研修を年3回実施
- 普通科系高校1年生が県内企業を訪問し、魅力を知る機会を新設
  - ・ 県内企業26社の協力を得て実施。高校1年生約720名が参加
- 都会の生活と比較して福井の魅力学ぶ副教材を活用したライフプラン学習を開始
  - ・ 全中学校・高校に教材を配付し、教員講習を実施。家庭科の授業において活用
- 地域人材コーディネート体制を整え、児童・生徒が自ら企画・提案する体験学習を実施
  - ・ 小・中学校28校において、地域コーディネーターを委嘱し活動を開始
  - ・ 12月に事例発表会を実施。全小中学校の校長、地域コーディネーター等340名が参加

#### 方針2:夢や希望を実現する「突破力」を身に付ける教育の推進

##### 〔平成 28 年度の実施結果〕

- 小学校高学年の理科等に教科担任制、中学3年生の英語・数学に習熟度別学習を導入
  - ・ 約8割の小学校において理科の教科担任制を実施。約5割の中学校（英語17校・数学17校）において習熟度別学習を実施
- 「ふくい理数グランプリ」小学校部門、小・中学生対象の少人数「理数ゼミ」を新設
  - ・ 「ふくい理数グランプリ」に小・中・高校生2,503人が参加。新設した小学生部門には803人が参加。成績優秀者約127人が少人数の「理数ゼミ」に参加
- 高校ごとの選択問題や英語スピーキングテスト導入など高校入試制度見直し方針を決定
  - ・ 記述問題の拡充、選択問題の導入、英検による加点を決定し、平成29年度実施の高校入試から反映
- 数学・理科の授業進度を速めるとともに、授業後などにおける個別指導を強化
  - ・ 普通科6校において数学・理科の進度を1~4ヶ月短縮し、大学入試問題演習を増加
- 高校教員80人と教育研究所が連携して新たに到達度確認テストを実施。授業改善に活用
- 大学進学サポートセンターを設置し、既卒生に対する学習指導や進学相談を実施
  - ・ 77名が登録し、毎日20~30名が利用。教科ごとの定期的な学習会を実施
- 本県独自のカリキュラムに基づく保幼小接続を県内全域で実施
  - ・ 27、28年度で市町幼児教育アドバイザー61名、園内リーダー307名を養成
  - ・ 12月にフォーラムを開催し、実践事例を発表。県内外から約720名が参加

### 方針3:社会への参加を進め、高度な専門知識・技能を身に付ける教育の推進

#### 〔平成 28 年度の実施結果〕

- 高校生が選挙や政治の仕組みを学ぶため、副教材を活用した学習を充実
  - ・ 全県立学校において生徒向け講座や模擬選挙、討論型の授業など実践的な学習を実施
- 高校生が地域貢献活動の情報を収集し、ボランティア参加を促進
  - ・ 生徒が年間ボランティア計画を作成して実施。昨年より3倍を超える約2万人が参加
- 職業系高校生の資格取得を支援する「福井フューチャーマイスター」の認定を開始
  - ・ 国家資格等の受験者数が約2割増加。職業系高校生の8割以上となる約1,854名を認定
- 商業系全6校において観光の授業を行い、専門的な外部講師による授業を28回実施

### 方針4:グローバルな社会で活躍するための「使える」外国語教育の推進

#### 〔平成 28 年度の実施結果〕

- 中学生・高校生の外部検定受検を支援するとともに、校内スピーキング評価を実施
  - ・ 全中学校・高校において定期試験に合わせたスピーキング力の評価を実施
  - ・ 中学3年生の約9割となる7,255名、高校2年生の約5割となる3,656名の英検、GTEC等の受検を支援
  - ・ 中学3年生の47%が英検3級相当、高校3年生の45%が英検準2級相当以上の英語力
- 中学生がふるさとの魅力を英語で国内外に発信するとともに、ALTとの交流機会を拡充
  - ・ 中学校のALTを増員し、活用を週1.5時間に拡大。全小学校に学期1回派遣
- 小学校英語教科化を国に先行して実施するための指導体制を整備
  - ・ 小学校の中核となる教員を対象に研修を実施。27、28年度で全校の教員が受講
  - ・ 全小学校教員が語学講座を活用して英語を学習し、研修会において実践事例を発表
- 英検準1級相当以上を取得した高校教員は86%、中学校教員は56%

### 方針5:福井の教育を支える教員の指導力をさらに向上

#### 〔平成 28 年度の実施結果〕

- 「教育総合研究所」を旧春江工業高校跡地に整備し、機能・体制を強化
  - ・ マネジメントやICT教育など新たな教育課題に関する研修の強化とあわせ、遠隔研修システムや通信研修の活用など、教員研修を見直して内容の充実と効率化を推進
  - ・ 本庁と連携した学校に対する指導や教材作成、教育相談体制の拡充など教員に対する支援を強化
- 教育総合研究所内に「教育博物館」を整備。県民や学校から約5,000点の教科書・教具や福井ゆかりの教育者の直筆資料などを収集
- 若手教員が参加した自主研究グループを支援
  - ・ 小学校英語教育やICT活用など50グループが自主研究活動を実施
- 新たに全教職員の出勤時刻調査を始め、校長・教頭による勤務実態の把握を徹底
  - ・ 部活動指導の改善や校務支援システムの導入など業務効率化の方針を決定
- 高校における進学指導など実績ある退職教員の活用を促進
  - ・ 新たに小学校理科支援、高校における受験指導等を実施。退職教員等194名を活用

## 方針6:安全・安心でみんなが楽しく学ぶ学校づくりの推進

### 〔平成 28 年度の実施結果〕

- いじめ・不登校対策として、スクールカウンセラーおよびスクールソーシャルワーカーの配置を拡充
  - ・スクールカウンセラーを 11 名、スクールソーシャルワーカーを 2 名増配置
  - ・小学校への学校訪問体制を拡充
- 全中学校において生徒の自主的なルールづくりを進め、ネットの適正利用を促進
  - ・全ての中学校において生徒会等を中心にネットの適正利用についてルールを作成
- 特別支援学校生徒の職場実習等に協力する「就労サポーター企業」制度を新設
  - ・サポーター企業に 103 社が登録し、実習受け入れや技術指導に協力
  - ・特別支援学校卒業生の一般就労率は昨年度の 32.9%から 40.5%に向上
- 新たに作成した食育教材を活用し、小・中学校における食育の授業を増加
  - ・栄養教諭による食育授業を年間 5 回に増加。家庭科、学活、給食時間に実施

## 方針7:児童・生徒数の減少や社会の変化に対応した学校・学科の整備

### 〔平成 28 年度の実施結果〕

- 県立高校再編について、生徒の減少時期が早く、他地区への生徒の進学も多い丹南地区から議論を始める方針を決定
  - ・各地区の中学生の進学状況や高校卒業後の進学状況をもとに関係者と協議
- 道守高校を除く夜間定時制 4 校を平成 29 年度から募集停止。昼間に移行
- 武生高校池田分校を平成 30 年度から募集停止
- 丸岡高校城東分校を平成 29 年度から丸岡高校定時制に移行
- 双方向型の遠隔授業・研修システムの整備を進め、各学校における活用を開始
  - ・全ての小・中・高校に整備し、学習交流や海外との英語交流などに活用
- 年数が経過した学校施設を対象とした大規模修繕の設計を実施

## 方針8:生涯にわたる学びを地域活動につなげる仕組みづくりの推進

### 〔平成 28 年度の実施結果〕

- 福井ライフ・アカデミーに実践型講座を導入し、地域貢献につながる学びを促進
  - ・ふるさとに貢献する実践型講座を 7 月から開講。3 コースに 44 名が参加
- 芦原青年の家を 7 月に開所し、地域資源を活用した新たな体験プログラムを実施
  - ・7 月 16 日に新芦原青年の家が開所。7 月、8 月の利用者は 6,293 名（昨年約 5.6 倍）
- 新たに保護者を対象とした望ましい生活習慣、家庭内読書、お手伝いの推進など家庭教育パンフレットを作成し、保護者会等において普及
- PTA と連携した保護者向け家庭教育研修を始め、保護者 945 人が参加
  - ・子どもの読書の重要性や食生活、生活習慣の確立をテーマに県内 5 地区で実施

## 方針9:地域への愛着を深める芸術・文化活動や創作活動の充実

### 〔平成 28 年度の実施結果〕

- 弦楽クラブ参加者を増やすとともに、児童・生徒が本物の芸術に触れる機会を拡充
  - ・新たに高志中学校において弦楽部が活動を始め、13校において弦楽活動を推進
  - ・五嶋みどり氏など一流の演奏家による研修会、合同練習や発表の機会を増加
- 全ての小・中・高校において日本画を活用した美術の授業を実施
  - ・東京藝術大学と連携し、大学院生による中高生への日本画指導、出前授業を実施
- ふるさと文学、古典などを学校巡回し、学校・家庭における読書活動を推進
  - ・全小・中学校において年間2冊の巡回を実施。学級通信等により家庭との連携を促進
- 著名作家等が指導する第2期「ふくい文学ゼミ」を開催。修了者によるサークルを結成
  - ・第2期「ふくい文学ゼミ」を高校生8名を含む20名が修了
  - ・昨年度修了者28名が文学サークルを結成。月1回程度の相互指導や情報交換を実施
- 白川静博士没後10年を契機に「白川文字学の室」をリニューアル
  - ・白川博士の自筆原稿や書簡等のほか、立命館大学から資料の寄贈・寄託を受け、書斎を復元するなど10月にリニューアルオープン
  - ・白川博士没後10年記念フォーラムを開催し、全国から約500人が参加
- 丸岡城の国宝指定を目指し、坂井市が行う建築年代の特定等の調査を支援
  - ・丸岡城の建築部材について、年輪年代調査、放射性炭素調査を実施するとともに、初代城主柴田勝豊に関する文献調査等を実施

## 方針10:「福井しあわせ元気国体」の優勝を目指した競技力向上と国体の成果を活かした県民スポーツの振興

### 〔平成 28 年度の実施結果〕

- オリンピック出場経験のある指導者などからの直接指導機会を増やすとともに、強豪チームとの練習機会を充実
  - ・少年強化のためスーパーアドバイザーを15名追加し、月2回派遣（計647回）
  - ・県外強豪チームとの実戦練習や大会に帯同（延べ180日）
  - ・メンタル指導等のためケアトレーナーを31競技に57回派遣
- 「スポジョブふくい」等を活用し、日本代表級を含めた有力選手を確保
  - ・スポジョブふくい等で有力選手180名を確保済（うち今春採用70人）
  - ・特別強化コーチとして日本代表級を含む選手を68名確保済
  - ・ふるさと選手の出場確約済150名
- 福井国体において少年種別の中心となる高校1年生の選抜チームを結成・強化
  - ・33競技で高校1年生の選抜チームを編成
  - ・県外遠征や強化合宿等を実施（33競技382回）
- 県民が気軽に参加できるスポーツイベントを全市町において開催
  - ・17市町において延べ29回のスポーツイベントを開催



(2) 主要事業の実施成果

I 元気な社会				
1 人口減少に歯止めをかける徹底戦略				
(1) 高校生企業訪問事業				高校教育課
[事業目的]	福井の職業および企業の魅力について学ぶ機会を創設し、県外大学などに進学した学生が福井で働くイメージを持ち、県内に戻って働く若者を増やす。			
[事業内容]	・普通科系高校1年生を対象に、夏休みの期間を活用して企業訪問を実施			
[決算額] (単位：千円)	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,275			1,275
[事業の目標 および効果]		内 容	目標	実績
	活動 指標	参加生徒数	600人	720人
[事業評価]	ふるさと福井の職業や企業について学ぶとともに、県外の大学から福井に戻って就職した若手社員と意見交換を行うなど、県内企業への関心が高められている。			

I 元気な社会				
1 人口減少に歯止めをかける徹底戦略				
(2) 福井プレカレッジ事業				高校教育課
[事業目的]	県内大学および県内企業の魅力を学ばせ、地元出身者占有率および県内企業への就職者数を増加させる。			
[事業内容]	・福井大学・福井県立大学において、実験実習等を伴う学習プログラムを実施			
[決算額] (単位：千円)	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,258	2,258		
[事業の目標 および効果]		内 容	目標	実績
	活動 指標	参加生徒数	90人	80人
[事業評価]	高校生が県内大学の魅力を経験する機会が設けられ、県内大学進学に関する生徒の意欲向上に繋がっている。			

I 元気な社会				
2 福井から人材育成				
(1) 教育研究所移転整備事業			教育政策課	
[事業目的]	教育研究所を春江工業高校跡地に移転し、教育課題の研究、研修の拠点としての機能を強化し、教員の指導力のさらなる向上を図る。また、教育博物館を整備し、福井の教育の県内外への発信拠点としていく。旧教育研究所は、福井国体に向けた駐車場整備のため解体する。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧春江工業高校の改修工事（527,117千円）</li> <li>・旧教育研究所の解体工事（65,997千円：29年度債務負担行為153,993千円）</li> </ul>			
[決算額] (単位：千円)	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	65,997		49,000	16,997
[事業の目標 および効果]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年4月に開所できるよう、旧春江工業高校の改修工事を実施した。</li> <li>・旧教育研究所の解体工事を実施した。</li> </ul>			
[事業評価]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年4月に、教員研修や福井の教育発信などの機能を強化した「教育総合研究所」を開所することができた。</li> <li>・福井国体開催のための駐車場整備が実施できるよう、計画どおり解体工事を実施した。</li> </ul>			

I 元気な社会				
2 福井から人材育成				
(2) ㊦遠隔授業・研修システム整備事業			教育政策課	
[事業目的]	教育総合研究所、学校等の県内全ての公立教育機関等をつなぐ全国初の遠隔授業・研修システムを整備し、学校間での合同学習、双方向型の通信研修に活用することにより、児童・生徒の学習の充実や教員の授業力向上を図る。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育総合研究所や小中高校、特別支援学校等への整備（332箇所）</li> <li>・システムの利活用促進に向けた研修会の実施やヘルプデスクの設置等</li> </ul>			
[決算額] (単位：千円)	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	153,294			153,294
[事業の目標 および効果]	内 容	目 標	実 績	
	活動 指標 整備場所数	325箇所	332箇所	
[事業評価]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムの整備とともに、夏休み期間中に研修会を実施し、2学期から本格稼働できる環境を整えた。</li> <li>・随時活用事例等を情報提供し、システムを活用した県内学校間や海外との交流など、積極的な活用が図られた。</li> </ul>			

I 元気な社会				
2 福井から人材育成				
(3) 県立学校施設長寿命化対策事業				学校振興課
[事業目的]	老朽化した県立学校施設について、大規模改修による施設整備を実施し、生徒の学校生活における安全確保および環境改善を図る。			
[事業内容]	・ 建築後35年以上経過した県立学校施設を対象とし、大規模改修を実施			
[決算額] (単位：千円)	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	18,638			18,638
[事業の目標 および効果]	・ 高等学校3棟、特別支援学校4棟について、大規模改修工事の設計を実施した。			
[事業評価]	生徒の学校生活における安全確保および環境改善を図るため、29年度以降順次、大規模改修工事を行う。			

I 元気な社会				
2 福井から人材育成				
(4) ふるさと教育推進事業				高校教育課
[事業目的]	中高生への福井の先人の生き方等を学ぶ「ふるさと教育」を進め、県民としての誇りを持ち、本県の魅力を発信できる人材として育成する。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全中学、高校生に教材「ふるさと福井の先人100人」を配付し、道徳やホームルームの時間に活用</li> <li>・ 「ふるさと福井の先人100人」を書籍化し、出版</li> <li>・ 高校1年生に副教材「私のしあわせライフプラン」を配付し、家庭科授業で活用</li> </ul>			
[決算額] (単位：千円)	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	14,779		28	14,751
[事業の目標 および効果]	内 容	目 標	実 績	
	活動 指標	教材配付数	73,100冊	75,100冊
[事業評価]	中高生への福井の先人の生き方等を学ぶ「ふるさと教育」が進められ、県民としての誇りを持ち、本県の魅力を発信できる人材が育成されている。			

I 元気な社会				
2 福井から人材育成				
(5) ⑥高校生学力向上推進事業				高校教育課
[事業目的]	生徒の進学希望を実現するために、教員の受験指導力や高校における進学指導体制を強化する。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受験指導のエキスパートとなる教員等を養成し、進学指導体制を強化</li> <li>・生徒の学習意欲や学習状況を把握するための調査を実施</li> <li>・入試対策セミナーの充実など大学進学希望者の学力向上を支援</li> <li>・県内既卒生対象学習支援体制の整備</li> </ul>			
[決算額]	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
(単位：千円)	44,794		6,201	38,593
[事業の目標 および効果]		内 容	目標	実績
	活動 指標	授業満足度	75%	77%
	成果 指標	難関10大学合格者 (県立・現役)	110人	120人
[事業評価]	生徒の学力向上や進路指導の充実に向けた活動により、より多くの生徒の進路志望実現が図られている。			

I 元気な社会				
2 福井から人材育成				
(6) 中高一貫校給食施設整備事業				高校教育課
[事業目的]	高志中学校・高校において、地元の食材を活かした温かい学校給食を実施するために、給食施設の整備を行う。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年4月 解体、実施設計委託</li> <li>・平成29年2月 建設工事着手</li> <li>・平成30年1月 供用開始</li> </ul>			
[決算額]	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
(単位：千円)	123,743		92,000	31,743
[事業の目標 および効果]	・中高一貫校の給食施設に関して、施設建設に係る設計を実施するとともに、解体工事を完了した。			
[事業評価]	平成28年度中に実施設計・解体工事まで終了し、平成30年1月供用開始に向けて、スケジュールどおり施設整備を進めている。			

I 元気な社会				
2 福井から人材育成				
(7) 特別支援教育機器整備事業			高校教育課	
[事業目的]	特別支援学校に視覚障害・聴覚障害等の障害の特性に応じた機器を導入し、障害の補償・代償による学習促進を図り学習環境の向上を図る。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害特性に応じた機器・補助具の導入</li> <li>・障害の特性および学習内容別に機器や補助具を活用した指導事例集を作成し、教員へのフィードバックを実施</li> </ul>			
[決算額]	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
(単位：千円)	3,406	801		2,605
[事業の目標および効果]	内 容	目 標	実 績	
	活動指標	指導事例数	45 事例	48 事例
[事業評価]	特別支援学校に視覚障害・聴覚障害等の障害に応じた機器を導入し、学習環境の向上が図られている。			

I 元気な社会				
2 福井から人材育成				
(8) 高度な職業教育の推進事業			高校教育課	
[事業目的]	地元就職する高校生が産業界で活躍できるスキルアップを応援するために、社会から求められるニーズや技術進展に対応した実践的な専門教育の充実を図る。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生が自ら地域の課題を調査し、解決策を提案・実行する地域活性化プロジェクトを実施</li> <li>・職業系高校の生徒に対し高難易度有資格者による技術指導を実施</li> <li>・長期企業実習を職業系高校で実施</li> <li>・産業人材コーディネーターを配置し企業と生徒のマッチング支援等を強化</li> <li>・県内企業でのインターンシップを実施</li> </ul>			
[決算額]	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
(単位：千円)	13,875	6,185		7,690
[事業の目標および効果]	内 容	目 標	実 績	
	活動指標	企業技術者等参画人数	75 人	86 人
	成果指標	高難易度資格取得者数	530 人	584 人
[事業評価]	地元企業からの高難易度有資格者や生徒の短期・長期企業実習受入・技術指導などにより、生徒の学習意欲・技能の向上が図られている。			

I 元気な社会				
2 福井から人材育成				
(9) 農業経営学習施設整備事業			高校教育課	
[事業目的]	次世代の高度農業人材を育成するため、農業系高校の地域性を活かした農業教育を充実する。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来の農業高校での「栽培」の学習に加え、「加工」「流通」などの経営学習を強化するために必要な設備等を整備 (整備内容 H28～H29年度)</li> </ul> 坂井高校 校内販売所の整備、トマト・イチゴ栽培温室の整備 福井農林高校 食品加工室等の整備、トマト栽培温室の整備			
[決算額]	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
(単位：千円)	38,368			38,368
[事業の目標および効果]	<ul style="list-style-type: none"> <li>坂井高校については、校内販売所設置のための育雛舎の解体、販売所の設計を完了した。</li> <li>福井農林高校については、食品加工室等の整備のための設計、新規温室整備のための旧温室の解体を行った。</li> </ul>			
[事業評価]	加工や流通、販売に携わる農業人材を育成するため、温室、食品加工室、販売所等の実施設計まで完了し、平成29年度完成に向けて施設整備を進めている。			

I 元気な社会				
2 福井から人材育成				
(10) 福井フューチャーマイスター事業			高校教育課	
[事業目的]	県内高校生の資格取得等に対する意欲向上を図り、地元企業に就職してから活躍できるスキルアップを応援するため、認定・支援制度として、企業が求める専門資格取得を支援する。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内企業が求める資格などを盛り込んだ「福井フューチャーマイスター制度」を創設</li> <li>企業が求める専門資格の取得を支援(補助率 2/3【一般資格は 1/2】)</li> </ul>			
[決算額]	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
(単位：千円)	9,073			9,073
[事業の目標および効果]		内 容	目 標	実 績
	活動指標	専門資格取得支援者数	2,300人	2,352人
	成果指標	福井フューチャーマイスター認定者数	800人	1,854人
[事業評価]	地元企業の即戦力となる人材を育成するため、県内職業系高校生の資格取得を支援するとともに、福井フューチャーマイスターとして認定して、高校生のスキルアップが図られている。			

I 元気な社会				
2 福井から人材育成				
(11) ㊦古典学習支援事業				義務教育課
[事業目的]	福井にゆかりのある百人一首などを取り入れた独自教材を作成し、児童・生徒が古典にふれる機会を充実する。			
[事業内容]	・百人一首や古文、ことわざ・慣用句などの作品を掲載した「古典音読・暗唱ノート」の作成を行い、児童・生徒（小学3年生～中学3年生）に配布し、国語の授業などで活用			
[決算額] (単位：千円)	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	4,460			4,460
[事業の目標 および効果]		内 容	目標	実績
	活動 指標	古典音読・暗唱ノートを配布した学校数	265校	265校
	成果 指標	古典音読・暗唱ノートを活用した学校数	265校	265校
[事業評価]	・「古典音読・暗唱ノート」を全小中学校に配付し、授業での活用や公開授業を行い、児童・生徒が古典にふれる機会を増やし、授業の充実を図った。			

I 元気な社会				
2 福井から人材育成				
(12) ㊦地域と進める体験推進事業				義務教育課
[事業目的]	児童・生徒が地域の人々とともに、自ら企画・提案した体験学習を行うことにより、ふるさと福井に誇りや愛着を持つ人材を育成する。			
[事業内容]	・全小中学校で、学校と地域住民、企業などの橋渡しを行う「地域コーディネーター」を委嘱し、子どもたちの体験活動を進化 ・体験活動費用を助成（1校 20万円を上限 県1/2、市町1/2）			
[決算額] (単位：千円)	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,682			2,682
[事業の目標 および効果]		内 容	目標	実績
	活動 指標	地域コーディネーターを配置した学校数	28校	28校
	成果 指標	地域参画の体験活動を実施した学校数	28校	28校
[事業評価]	・小中学校 28校で地域コーディネーターを委嘱し、児童・生徒の体験活動の充実を図った。 ・30年度を目標に全小中学校で地域コーディネーターを委嘱し、ふるさと福井に誇りや愛着を持つ人材の育成を図っていく。			

I 元気な社会				
2 福井から人材育成				
(13) 幼児教育支援事業			義務教育課	
[事業目的]	保育所・幼稚園等の幼児教育現場や幼児の家庭における幼児教育力の一層の向上を図るため、幼児教育支援プログラムに掲げる施策を推進する。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町幼児教育アドバイザー、園内リーダーの養成</li> <li>・保幼小接続講座の開催</li> <li>・家庭の幼児教育力の向上（保護者の1日保育体験の実施）</li> </ul>			
[決算額]	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
(単位：千円)	14,168	431	231	13,506
[事業の目標 および効果]		内 容	目標	実績
	活動 指標	センター主催の研修講座受講者数	—	9,392人
	成果 指標	園内リーダーの養成人数	349人	307人
[事業評価]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・27年度から「福井県保幼小接続カリキュラム」に基づき、市町幼児教育アドバイザー、園内リーダーの養成研修を実施している。</li> <li>・公私園種を超え、子どもの「遊びの中の学び」を核に学び合い、市町および園単位での研修の活性化が図られた。</li> </ul>			

I 元気な社会				
2 福井から人材育成				
(14) ④英語力向上事業			義務教育課	
[事業目的]	授業以外で英語に触れる機会を増加させるとともに海外語学研修等の実践的なプログラムにより、英語コミュニケーション能力を伸ばし、国際的に活躍する人材を育成する。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NHKと連携し作成した英語テキストの活用</li> <li>・生徒を海外語学研修に派遣</li> <li>・小中学校および高校教員を対象とした研修の実施</li> <li>・中高生を対象とした外部検定試験の受験補助</li> </ul>			
[決算額]	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
(単位：千円)	86,554	10,958	20,117	55,479
[事業の目標 および効果]		内 容	目標	実績
	活動 指標	中高英語教員研修実施回数	8回	8回
	成果 指標	高校卒業時に英検準2級以上を持つ生徒の割合	45%	45%
[事業評価]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTを活用した授業や海外語学研修など集中的に英語を使う場面を確保することにより、英語に興味を持つ生徒が増えている。</li> <li>・小学校英語教科化に向け、早期に準備を進めるとともに、中学校および高校における「話す力」を伸ばす英語教育を進めていく。</li> </ul>			



I 元気な社会				
2 福井から人材育成				
(15) スクールカウンセラー配置事業			義務教育課	
[事業目的]	児童・生徒の心のケアを行うための専門家を配置し、いじめ、不登校、暴力行為等の問題行動の未然防止や早期発見、早期解決を図る。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童・生徒の心のケア等を行うスクールカウンセラーを県内公立全小中学校（中学校：73校 小学校：191校）に配置</li> <li>児童・生徒へのカウンセリング、教職員・保護者への助言等を実施</li> </ul>			
[決算額] (単位：千円)	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	96,853	32,285		64,568
[事業の目標 および効果]	内 容	目 標	実 績	
	活動 指標	相談延べ件数	—	27,258 件
[事業評価]	<ul style="list-style-type: none"> <li>全中学校に加え、全小学校にスクールカウンセラーを配置し、児童・生徒や保護者等からの相談に応じることができた。</li> <li>相談内容が複雑な案件が増加しており、今後もスクールカウンセラーの増員や研修会を充実するなど、相談体制の強化を図っていく。</li> </ul>			

I 元気な社会				
2 福井から人材育成				
(16) スクールソーシャルワーカー配置事業			義務教育課	
[事業目的]	社会福祉等の専門的な知識を持つ人材を配置し、家庭、友人関係等、児童・生徒を取り巻く環境の問題を解決する。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールソーシャルワーカーを17市町に配置</li> <li>運営協議会、事例検討会の開催</li> </ul>			
[決算額] (単位：千円)	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	13,952	4,651		9,301
[事業の目標 および効果]	内 容	目 標	実 績	
	活動 指標	支援延べ件数	—	431 件
[事業評価]	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童相談所や警察等の関係機関と連携し、児童・生徒を取り巻く環境の問題解決を図った。</li> <li>相談内容が複雑な案件増加しており、今後もスクールソーシャルワーカーの増員や事例検討会を行い、相談体制の強化を図っていく。</li> </ul>			

I 元気な社会				
2 福井から人材育成				
(17)「白川文字学」普及・研究促進事業			生涯学習・文化財課	
[事業目的]	故白川静博士が確立した「白川文字学」を活用した本県独自の漢字教育を研究し、学校教育等で実践するとともに、その指導方法を県内外に広げ、普及を図る。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「白川文字学」の県内外へ向けた普及活動 「第4回白川静漢字教育賞」の実施、白川文字学ゼミ公開講座等の開催、白川静博士没後10年記念フォーラムの開催</li> <li>・教員の指導力向上 「漢字指導者認定制度」の実施、指導法の研究、研修会の開催等</li> <li>・「白川文字学の室」の充実 白川博士没後10年を記念したリニューアルの実施</li> <li>・書写教育の充実 基本的な筆使いや指導法を紹介した動画教材(DVD)を作成し、県内の全小中高へ配付</li> </ul>			
[決算額] (単位：千円)	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	22,152		677	21,475
[事業の目標 および効果]		内 容	実績	
	成果指標	漢字学習講座等への参加者数	3,165人	
	成果指標	「白川文字学の室」入室者数	11,520人	
[事業評価]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第4回白川静漢字教育賞」には、全国23都道府県と海外から過去最高となる72件の応募があり、表彰式において、優秀事例の実践発表を行うとともに、ホームページ等により全国に発信した。</li> <li>・研修会や模擬授業等を開催するとともに、各校の漢字教育を推進している教員63名を漢字教育指導者に認定し(累計263名)、指導力の向上を図った。</li> </ul>			

I 元気な社会				
2 福井から人材育成				
(18)青少年体験活動施設整備事業			生涯学習・文化財課	
[事業目的]	小中学生の野外体験や長期集団宿泊を中心とした体験活動施設として、老朽化した芦原青年の家の移転整備を行う。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芦原青年の家施設整備の建設工事、外構工事</li> <li>・芦原青年の家の新しい体験プログラムの企画・実施</li> </ul>			
[決算額] (単位：千円)	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	254,230		149,000	105,230
[事業の目標 および効果]		内 容	目 標	実績
	活動指標	利用者数	—	21,913人
[事業評価]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月に開所した芦原青年の家において、北潟湖畔でのカヌー体験、農作物の収穫体験など自然の中で多様な体験活動を提供し、利用者の増加を図った。</li> </ul>			

I 元気な社会					
3 先進的な医療と福祉、健康長寿のふるさと貢献					
(1) 子どもの目と歯の健康プロジェクト事業			スポーツ保健課		
[事業目的]	生活習慣を見直すことを通して、視力低下の進行を遅くするとともに、トレーニングによって視覚機能の改善を推進する。正しい歯みがきの仕方を身につけることや乳歯のむし歯治療を促進させることを通して、永久歯のむし歯予防対策を促進する。				
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前の児童や保護者、小学校 1～2 年生の児童に対し、目の健康を守る生活習慣を定着させるためのチェックカード等を配布</li> <li>・全ての小中学校の教室に、目の健康を守る 3 カ条を掲示するとともに、目を休めるリフレッシュタイムや目の周りの筋肉を鍛えるビジョントレーニングを実施</li> <li>・小中学生を対象に歯垢染色剤やリーフレット等を活用した正しい歯みがき教室を開催</li> <li>・小学校 1、4 年生に歯科二次検診を実施（実施主体 市町 補助率 1/2）</li> </ul>				
[決算額] (単位：千円)	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源	
	5,086			5,086	
[事業の目標 および効果]	内 容			目標	実績
	活動指標	歯みがき教室受講率		100%	100%
	成果指標	むし歯のない（処置完了者含む）小学生の割合		70%	70%
[事業評価]	全小中学校においてリフレッシュタイムとビジョントレーニングを実施するとともに、近視予防につながる生活習慣の定着を図った。小中学校で養護教諭等による歯垢染色剤を活用した歯みがき教室を行い、歯みがき習慣の定着を図るとともに、歯科二次検診を通じてむし歯治療の勧奨機会を増やし、むし歯のない小学生の割合が向上した。				

II 元気な産業					
7 「農」・「林」・「漁」業を意欲と誇りの総合産業へ					
(1) ふくいの和食教育推進事業			スポーツ保健課		
[事業目的]	県独自の食育教材を活用した食育の授業を行うとともに、地場産食材や伝承料理を活用した給食メニューの開発と提供を通して、和食教育を推進する。				
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石塚左玄の訓えを学ぶ食育教材「食育チャレンジ」を活用した食育の実施</li> <li>・栄養教諭がプロの料理人と協働で、地場産食材を活用した給食メニューを開発</li> <li>・地場産 100%和食給食を実施（6 月、1 1 月）・学校給食調理コンテストを開催</li> </ul>				
[決算額] (単位：千円)	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源	
	1,391			1,391	
[事業の目標 および効果]	内 容			目標	実績
	活動指標	開発メニューの提供回数（年）		11 回	15 回
	成果指標	給食を食べ残さない児童生徒の割合		—	85.3%
[事業評価]	栄養教諭がプロの料理人と協働で、地場産食材を活用した給食メニューを開発するとともに、石塚左玄の訓えを学ぶ食育教材を活用した食育授業の実施や学校給食調理コンテストなどを通して、和食教育の推進を図った。				

IV 元気な県政				
11 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に				
(1) 芸術教育推進事業				義務教育課
[事業目的]	学校教育を通じて、音楽や美術など芸術面における体験活動を充実し、児童・生徒の感性や表現力の向上を図る。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生および高校生の弦楽奏者の育成</li> <li>・小学校での童謡、唱歌の活用</li> <li>・日本画を活用した美術教育の推進</li> </ul>			
[決算額] (単位：千円)	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	12,008		1,146	10,862
[事業の目標 および効果]		内 容	目標	実績
	活動指標	弦楽器講師派遣回数	474回	474回
	成果指標	弦楽器奏者数	170名	171名
[事業評価]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弦楽器推進校を1校増やし、基礎的な演奏技術の習得・向上を図るとともに、校外での発表や合同演奏の機会を積極的に設けた。</li> <li>・全小中学校および高校で水墨画や日本画を描く授業を行い、児童生徒の技能と表現力の向上を図った。</li> </ul>			

IV 元気な県政				
11 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に				
(2) こども歴史文化館事業				生涯学習・文化財課
[事業目的]	福井ゆかりの人物(先人・達人)の生き方や業績等を展示や講座、出前教室等により紹介し、郷土の歴史文化の理解を深め、福井に誇りをもてる子どもを育てる。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先人・達人普及事業…各種イベント、出前教室等の実施</li> <li>・先人・達人発掘事業(調査研究)…未開拓の人物情報の調査研究</li> <li>・先人・達人資料収集事業…実物資料の収集等</li> <li>・先人・達人特集事業…企画展の開催</li> </ul>			
[決算額] (単位：千円)	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	20,669		104	20,565
[事業の目標 および効果]		内 容	目標	実績
	活動指標	企画展開催回数	3回	3回
	成果指標	利用者数	55,000人	55,187人
[事業評価]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別展示室(1階)を活用し、幕末の先人をはじめ、先人の生活や風習にスポットを当てた特別展を開催した。</li> <li>・達人のひろば(3階)を活用し、文化、産業の分野で現在活躍中の福井ゆかりの達人を紹介した。</li> <li>・特別展開催期間をはじめ、特別展関連のワークショップや体験教室を年間を通して実施し、学校などの団体利用を促進するとともに来館者の増加を図った。</li> </ul>			

IV 元気な県政				
1 1 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に				
(3) ふるさと文学館事業			生涯学習・文化財課	
[事業目的]	ふるさと文学館において、福井ゆかりの作家や作品の魅力を伝える展示等を実施するほか、若者の創作活動を応援し、文学に親しむ機会を増やす。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展の開催</li> <li>・若い世代の創作活動を支援する文学ゼミや文学カフェ等の開催</li> </ul>			
[決算額]	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
(単位：千円)	24,922		1,557	23,365
[事業の目標 および効果]		内 容	実績	
	活動指標	企画展開催回数	3回	
	成果指標	入館者数	61,583人	
[事業評価]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「幕末の福井を描いた作家たち展」をはじめ、本県ゆかりの作家・作品をテーマに企画展を開催した。</li> <li>・若い世代を対象に年間を通じて文章指導を行う「ふくい文学ゼミ」を開講し、20人が修了した（累計48人）。</li> <li>・本県出身の作家等をゲストに迎えた「文学カフェ」を9回開催し、文学ファン層の拡大を図った。</li> </ul>			

IV 元気な県政				
1 1 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に				
(4) 文化財指定促進事業			生涯学習・文化財課	
[事業目的]	県民の財産である文化財を保存し、地域づくりや観光への活用を図るため、文化財の国指定等に向けた調査を推進する。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建造物、民俗、古文書等の調査</li> <li>・名勝指定のための測量調査</li> </ul>			
[決算額]	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
(単位：千円)	12,120	2,151		9,969
[事業の目標 および効果]		内 容	目標	実績
	活動指標	現地調査件数	—	46件
	成果指標	文化財指定件数	12件	14件
[事業評価]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「旧大和田銀行本店本館」（敦賀市）等4件の国指定とともに、「雄島海女の素潜り漁と加工技術」（坂井市）等10件を県指定文化財とした。また、丹巖洞草庵等27件が国登録有形文化財として登録された。</li> <li>・国指定に向け、「おくのほそ道の風景地（湯尾峠）」（敦賀市）の測量調査を実施した。</li> </ul>			

IV 元気な県政				
1 1 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に				
(5) 県民スポーツ祭開催事業				スポーツ保健課
[事業目的]	県民の誰もが気軽に参加できるスポーツ大会を開催し、競技スポーツと生涯スポーツの普及・振興を図る。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して「県民スポーツ祭」を開催（4月～2月）</li> <li>「冬季ファミリースポーツフェスタ」を開催（2月）</li> </ul> 実施主体：県民スポーツ祭実行委員会 補助率：定額			
[決算額] (単位：千円)	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	15,600			15,600
[事業の目標 および効果]	活動指標	参加者数	目標	実績
			—	45,503人
[事業評価]	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもから大人まで幅広くスポーツに親しむことができる機会の提供が図られた。</li> <li>実施方法の工夫により、さらに県民が参加しやすいものとし、県民がスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現に寄与していく。</li> </ul>			

IV 元気な県政				
1 1 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に				
(6) 1県民1スポーツ普及事業				スポーツ保健課
[事業目的]	「福井県スポーツ推進計画」に掲げる子どもの体育・スポーツ活動や、各世代の1県民1スポーツの活動を推進する。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校において1日1時間以上体を動かす「アクティブワン活動」や放課後スポーツ活動を実施</li> <li>中学校において国体種目を取り入れたスポーツ体験活動を実施</li> <li>1日30分以上のスポーツ活動を促すふくいスポーツチャレンジを普及啓発</li> <li>地域のスポーツクラブ指導者を対象に指導力向上のための研修会を開催</li> </ul>			
[決算額] (単位：千円)	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	4,222			4,222
[事業の目標 および効果]	活動指標	スポーツ体験活動実施校	74校	74校
	成果指標	地域クラブ等指導者研修会開催	32回	34回
		スポーツ実施率（成人：週1回以上）	58.0%	53.0%
[事業評価]	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校での運動遊びや伝承遊びなどのスポーツ活動により、運動が得意でない児童が積極的に体を動かすようになった。</li> <li>地域クラブや商工会議所などで開催した研修会を受け、受講者が自分の職場で新たに講師派遣を依頼するなど、継続的なスポーツ実施への活動が促進された。</li> </ul>			

IV 元気な県政				
11 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に				
(7) オリンピック東京大会事前キャンプ誘致広報事業 <span style="float: right;">スポーツ保健課</span>				
[事業目的]	オリンピック東京大会における事前キャンプの誘致活動を市町と協力して実施する。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大使館や中央競技団体等への要請活動を実施</li> <li>・県内キャンプ地の誘致PR、視察受入に要する経費を支援</li> </ul> 補助対象者：市町 補助率：1/2			
[決算額] (単位：千円)	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,259			1,259
[事業の目標 および効果]		内 容	目標	実績
	活動 指標	キャンプ誘致推進会議	2回	2回
[事業評価]	市町と共同で大使館や中央競技団体への要請活動を実施するとともに、国際競技連盟総会の会場でPR活動を行い、各国競技団体に県内キャンプ地の情報を発信した。引き続き、市町と協力して誘致活動を進めていく。			

IV 元気な県政				
11 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に				
(8) 福井運動公園整備事業 <span style="float: right;">スポーツ保健課</span>				
[事業目的]	「福井しあわせ元気国体」に向け、競技会場や選手強化の拠点および将来にわたる利用を念頭に福井運動公園の再整備を行う。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井運動公園内施設改修工事等の実施</li> </ul> 体育館、陸上競技場、補助競技場、屋内走路、野球場、補助球場、テニスコート、水泳場、少年運動公園、外構			
[決算額] (単位：千円)	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	5,714,166	2,252,695	2,912,000	549,471
[事業の目標 および効果]	各競技施設の工事を計画に沿って進めた。 (28年度完成施設：体育館、テニスコート)			
[事業評価]	全ての競技施設の工事が完了し、国体選手の練習等に活用することが出来た。引き続き、少年運動公園や外構の整備を進め、早期の全面供用開始を目指す。			

IV 元気な県政				
11 国体の成功と「スポーツ福井」の実現、文化・芸術を身近に				
(9) 競技力向上対策事業			競技力向上対策課	
[事業目的]	国民体育大会および各種スポーツ大会において本県選手が優秀な成績を収められるよう、計画的に競技力向上対策を実施し、競技力の向上とスポーツ振興を図る。			
[事業内容]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各競技団体における選手強化のための強化合宿等に要する経費を支援</li> <li>・補助対象者：各競技団体</li> <li>・対象経費：強化合宿等に要する経費</li> <li>・補助率：定額</li> </ul>			
[決算額]	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
(単位：千円)	846,800		410,007	436,793
[事業の目標 および効果]		内容	目標	実績
	活動 指標	選手確保（スポジョブふくい）	60名	70名
	成果 指標	国体順位	10位台前半	18位
[事業評価]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県選手が国民体育大会をはじめとする大会において優秀な成績を収めることは、県民に夢と感動を与え、スポーツの普及・振興等にも寄与している。</li> <li>・競技力向上基本計画に基づき、「福井しあわせ元気国体」での優勝、国体後の恒久的な競技スポーツ振興に努めていく。</li> </ul>			



## VI 有識者からの意見

### ○福井大学副学長（教育・学生担当） 中田 隆二

平成28年度は、前年の12月に策定された「福井県教育振興基本計画」実施2年目に入り、教育委員会や各種審議会等の活発な活動状況とともに、10の基本方針に沿って計画された様々な施策の実施結果が、本報告書には記されており、まずは関係者の方々のご尽力に敬意を表したい。特に“ふるさと創生教育”や、文科省の実施状況調査で教員・生徒共に高レベルにあると報告された“英語教育”、そして平成30年度の国体開催に向けたスポーツ振興政策と文化・芸術活動や創作活動の充実など、着実な進捗と成果が報告されており、数値目標を掲げた多くの取組みについては、2年間の数値の変化から、継続的発展が見て取れる。他方、県知事のマニフェストに示された4つのビジョンと12の政策に基づいて予算化され、教育庁の各課ごとに実施された主要事業についても、章を改めて実施成果が記されている。これらの記述形式は昨年度に準じているが、相互の関連性がわかりにくいので、次年度に向けて形式の検討をお願いしたい。

さて、前回の意見書でも触れたが、我が国における、人口減少・少子高齢化に伴う、生産年齢人口の減少が、経済そして社会構造に及ぼす影響とそれへの対策が急務である点については、福井県も例外ではない。特に、若者の県外流出も課題となっていることから、将来の福井を考える人材育成という点で、そしてキャリア教育の一環としても、“ふるさと創生教育”をはじめ、小中高での社会参加や、地域と連携した諸活動は重要であり、関連事業をさらに進めていただきたい。なお、現在、福井大学が基幹校となり県内5大学が連携して進めているCOC+事業でも、地域創生のための人材育成という観点から、高大連携等の活動に取り組んでいるが、今後も教育委員会をはじめ、県の関係部署のご支援、ご協力をお願いしたい。

ところで、知識基盤時代と言われている今日、グローバル化がさらに進み、第4次産業革命と呼ばれる新たな産業変化が進む中、イノベーション創出のための人材育成等が産業界から要請されている。近年、教育界に求められている新たな学力観、そして様々な改革の必要性も、そのような背景に基づくものであり、とりわけ、高大接続システム改革、すなわち、高校教育、大学教育、そして大学入学者選抜全体の在り方を転換する動きが加速している中、高大連携といった取組みの新たな意味づけも議論していく必要がある。同様に、新しい学習指導要領の下で進みつつある、初等中等教育での新たな学力観に基づいた取組みも期待される所であり、生徒の高学力を実現し、教育県として高い実績をあげてきた福井県の教育システムにも、多面的・総合的な学力評価を踏まえた、さらなる進化（深化）を期待したい。

教育委員会は、スポーツ・文化芸術も含め、生涯学習の機会を提供する役割も担っており、昨年度も種々の取組みが進められ、成果をあげているが、加えて福井型18年教育として知られている、幼児から高校卒業までの、学校間や家庭、地域の連携を重視した一貫性のある教育の実績や重要性はいうまでもなく、ここでは、学校教育について再度触れておきたい。これまで福井県では、教員の主体的な授業改善のための

研究会活動が推進されていたが、その活動を支えてきた経験豊かな教員の大量退職によって継続が難しくなってきた。それを補う意味でも、教育委員会主導の取組みが主にならざるを得ないと思われるが、教員の多忙感を生み出すことのないよう留意しつつ、是非、教員の自律的主体的な授業改善等の取組みも支援してもらいたい。このような状況を考えると、旧春江工業高校跡地に移転・整備が進められ、今春完成した「教育総合研究所」の今後の役割は重要である。例えば、サイエンスラボでの高度な理科実験授業など、新しい学力観に基づいた各教科での授業研究の活発化、そして、いじめ・不登校などの重要課題はもちろん、時代の要請でもある、英語教育・ICT教育・LGBTも含め生徒の多様なニーズに配慮したインクルーシブ教育、そして教員のマネジメント力の強化など、新たな教育課題に関する研修等において、大学等関連諸機関とも連携し、さらなる効率化と高度化を期待したい。また、教育界における優秀な人材確保のために、本県では教員採用選考試験についても、継続的な改善がなされている。今後は、大学での養成段階での連携した取組みも含め、これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について、教員の養成・採用・研修を通じた一体的な改革に資する、福井ならではの取組みを、教育委員会と県内大学等関係諸機関が協力して進め、その成果を全国に発信していただきたいと思う。

## ○ 福井県高等学校PTA連合会 会長 宮谷 正志

平成27年12月に策定した「福井県教育振興基本計画」に基づき、ふるさと教育や学力向上などの施策が着実に実行されていることを大変評価する。また、教育委員会の活動において、委員会や各種会議の開催など組織運営が確立され、意見交換が密にされていることに敬意を表する。

私たち保護者は、子どもたちの教育について教職員の方々と意見交換し、裏方として支援に努めている。10項目における教育方針を推進する中で、各項目における意見や問題点については、各関係者との協議や対策が迅速になされることを望んでいる。そのうえで、教育委員の方々の負担軽減や、PTAの方々の幅広い意見が会議等で取り入れられることを願い、私たち保護者に対し、何らかの機会を通じて報告される場を設けていただきたい。

後半の各課の事業報告書からは、中身のある事業が実施され、予算を上手く活用して実績を挙げていることが伺える。その報告書の内容を踏まえ、個別に思うことは下記の通りである。

- 1 キャリア教育について様々な取り組みが行われているが、保護者と教職員が一緒に事業内容や受入企業の選定を行うなど、事業の充実を図っていただきたい。また、福井フューチャーマイスター制度については、子どもたちの評価につながる取り組みが企業に十分認知されていないことに疑問を覚えるので、この制度を各企業に対して今まで以上に周知いただきたい。
- 2 福井県は全国でもトップレベルの学力があるが、学力格差が広がり、一人ひとりが満足して勉学に励むことができないとなると、子どもたちの人間関係にひずみが生じるのではないかと。義務教育の中で難しいとは思いますが、習熟度別学習の拡充を視野に入れての取り組みに期待する。
- 3 英語力向上として、小中学校のALT講師の配置を充実されることが重要である。また、海外への短期留学やリスニング・スピーキングの授業等を充実化させることで、英語力の向上に努めていただきたい。
- 4 いじめ対策については、子どもたちの心のケアを行うためのスクールカウンセラーの配置はとてありがたい。パソコンやスマートフォンを使ったSNS対策において、保護者や教職員、そして子どもたちとともに正しいルール作りの環境整備をさらに進めていただきたい。
- 5 「福井しあわせ元気国体」に向けたスポーツ・文化・芸術を、子どもたちが身近に関われる各種活動の充実化を図っていただきたい。またこの国体を通じ、子どもたちが改めて福井の魅力を感じ取れる活動を進めていただきたい。

以上、いくつかの私見を述べたが、教育振興基本計画に基づく施策を進め、子どもたちがこの福井に誇りと夢や希望を持てるよう、その実現に向けて有効な教育行政が行われることを期待する。